

広報 かわぐち

No. 131
昭和59年 9月
発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場企画課
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)

地区館対抗リレー

(8月26日、町民体育祭)



町民体育祭の最終種目、7地区館対抗リレーは、最高の盛り上がりを見せ、東部地区館が優勝しました。

おもな内容

町民体育祭	2~3	退職者医療制度	10月1日から適用	7
嘉富団地 来年3月完成	4	スポーツコーナー		8
二子山遊歩道完成	5	お知らせコーナー		9~10
さわやか 20歳(成人式)	6			

「土づくり」推進強化期間
(9月1日~10月20日)

単収・品質の向上は「土づくり」が決め手!!

し尿汲取手数料が改正

七月の町議会において「廃棄物の処理及び清掃に関する条例改正」が可決され、し尿汲取手数料が十月一日から七・三%値上げになります。現行のし尿汲取手数料は、五十六年十月一日に改正したもので、以来三年近く経過しており、この間の経済状況、他市町村の状況等を考慮して改正したものです。

募集

警察官(高卒)

▽受験資格
十七歳~二十七歳までの男子で高卒程度の学力を有する者(大卒は除く)

▽受付期間 九月八日まで

この改正により、し尿汲取手数料は十月一日からの汲取分から十リットル当り四十四円(現行四十一円)になります。

人権相談所開設

町民課

相談は無料で、個人の秘密は守られておりますのでお気軽においで下さい。

日時 九月四日(火)
午前10時~午後3時

場所 川口町総合福祉センター

担当 法務局職員、人権擁護委員

主催 新潟県地方法務局長岡支局長岡人権擁護委員協議会

後援 川口町

町敬老会

9月15日午前11時
町総合福祉センター

防災の日 9月1日

▽問い合わせ先
小千谷警察署川口派出所
☎ 八九二〇三三

献血にご協力ください

▽とき
九月二十八日(金)
午前10時~12時
午後一時~三時

▽ところ
町総合福祉センター

▽献血できる人
満十六~六十歳までの方

▽その他
献血時に健康診断(貧血、血圧検査)をします。

人口	6,587人	昭和59年9月1日現在
男	3,245人	
女	3,342人	
世帯数	1,512戸	

町民囲碁将棋大会結果

8月19日 町総合福祉センター

囲碁の部 (敬称略)

総合優勝	星野敬太郎
総合準優勝	栗原 稔
A組 1位	栗原 稔
2位	中林 貞三
3位	鈴木 融
B組 1位	星野敬太郎
2位	古田島淳治
3位	小宮山忠男

将棋の部 (敬称略)

1位	堀沢 敏
2位	関 勝人
3位	星野 建一



▲ 最後は体が上がらない (馬とびレース)



▲ 未来のスポーツ選手 (幼児レース)



選手宣誓
和南津・丸山健一氏



準備体操



入場行進、和南津地区館

ふれあい種目に

第26回町

広がる スポーツの輪

〓 応援席も来賓席も棒立ちノ声を枯れんばかりの応援が贈られた、大会のファイナル地区館対抗リレー〓
去る八月二十六日(日)絶好のコンディションの中、第二十六回町民体育祭が、運動公園多目的広場において行われ、昨年優勝の西川口地区館を逆点し、東部地区館が優勝しました。

午前九時十分、川口中学校プラスチック吹奏に合せ七地区館が入場。開会式において
青柳町長は、「スポーツを通じて、人間性豊かな連帯感を培い、町民皆スポーツの輪を広げ、「正義と忍耐」「最善と協力」のスポーツ精神を養っていただきたい。それが「健康と心のふれあうスポーツの町」につながる。
また、運動公園は、新潟県の滞在型レクリエーション観光の核として、高速交通体系関連観光地整備計画調査会の調査対象地区に選ばれ、視察団が訪れている」とあいさつ。体育祭のテーマである、健康と心のふれあいを主体とした種目がくり広げられました。

午前の部では、①障害物リレー②馬とびレース③ポートレースリレー、午後の部では、④アベック二人三脚リレー⑤アベックなわとびリレー⑥綱引き⑦百足競争リレー等、各地区館が日頃練習した成果がみゆり、白熱したレースが続いていました。
中でも田麦山地区館の躍進はすばらしく、昨年の汚名を挽回し堂々三位。
アトラクションでは、①川口あり太鼓②田麦山小学校少年消防クラブ鼓笛隊③泉小学校トランペット鼓笛隊の各演奏や、④町消防団ポンプ操法演技に盛んな拍手がおくられていました。
午後四時、参加者は、ベストを尽し、さわやかな笑顔をみせ、マリーゴールドや葉鶏頭の咲き競う中山高原をあとにしました。



力いっぱい引っ張りあう(綱引き)



あっ／はずれちゃった(アベックなわとび)

声援飛び交う

民体育祭



▲ 第2走者にバトンタッチ (地区館対抗リレー)



▼ 練習の成果を出した(百足競争)



なかなかぬけない(障害物レース)



▲ なかなか入らない(紅白玉入れ)



また負けちゃった(ジャンケンリレー)

この二子山遊歩道は、古くから天気の良い日は佐渡ヶ島が見えると伝えられ、標高四百三十三メートルの山頂に上がると、国定公園の越後三山を初め、清流魚野川や関越自動車道、周辺市町村の町並みなど景観はすばらしい。

今年完成した二子山遊歩道は、「自然と親しみながら何かを身につける」ことのできる場づくり「森林スクールの

このほど、森林浴を満喫できる、「二子山遊歩道」が完成、木沢地区民を初め、町内外者からの人気が高まっています。

(写真)

当町は昨年から本格的な遊歩道建設に着手し、東山遊歩道とこの二子山遊歩道を合せ、約五キロが完成したことになりました。



木沢地区

二子山遊歩道完成

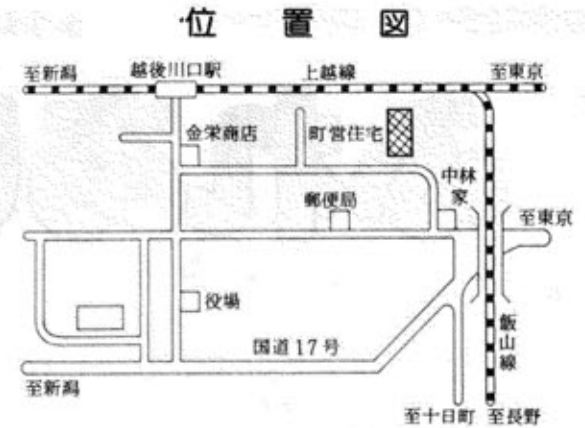
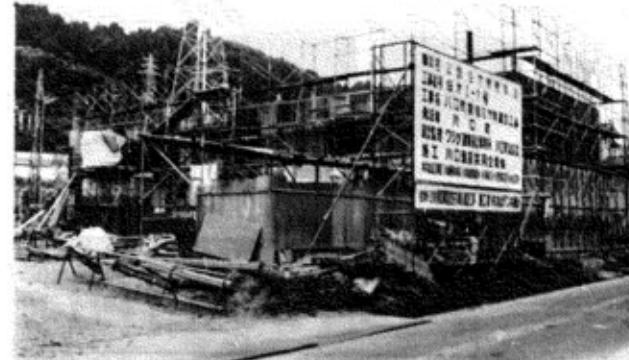
建設の一環として実施されたもので、県観光施設整備事業の補助をいただき、延長八百三十メートルを実施。

川口東部の通称五郎谷地区から運動公園を横目に、昨年完成した東山遊歩道を通り二子山遊歩道までの全長約五キロメートルは、紅葉時には親子づれでにぎわいを見せることでしょう。

当町2棟目の中層住宅(町営)

嘉富団地

来年3月完成予定



4階建16戸入居できます

川口町営住宅が、川口東部の通称嘉富町に六月末、建設着工され、来年三月完成をめざし順調に工事が進行しています。(写真)

住宅建設事業は、人口増加対策として昭和五十三年来、高層住宅調査室を設置して検討をかさね、昭和五十六年度県営住宅建設に次いで二棟目になります。

県営住宅は好評によりすぐ満室となり、住宅難が解消されず、地区民の要望が強かったため、今回の町営住宅建設となったものです。

この町営住宅は「嘉富団地」と命名され、場所は旧国鉄官舎(現変電所脇)跡地で駅から徒歩三分と最高地。敷地は一千七百三十㎡、建物は、鉄筋コンクリート四階建、入居戸数十六戸、延面積九百六十七㎡、総事業費一億八千万円(補助率三分の二)で実施されています。

一戸当りの面積は、約六十㎡(2DK)で、和室六帖が二間、台所、食堂、浴室、便

所に加え、サンルーム、バルコニーが設けられ、四大家族が生活できるよう設計されています。

この「嘉富団地」の大きな特長は、雪国にマッチした工法が多くとり入れられ、特例として補助を認められたことです。①床高を九十cm高くしていること②各戸にバルコニー、サンルームを設置し、同時に冬期間も雪害防止の構造が豪雪用。④四階建てで併処理浄化槽が認められたこと。

また、幼児遊園や駐車場の設置し、車社会にも充分対応できるように配慮しています。

核家族化が進む中、住宅難

の方々にとっては待ちどおしい住宅となりそうです。

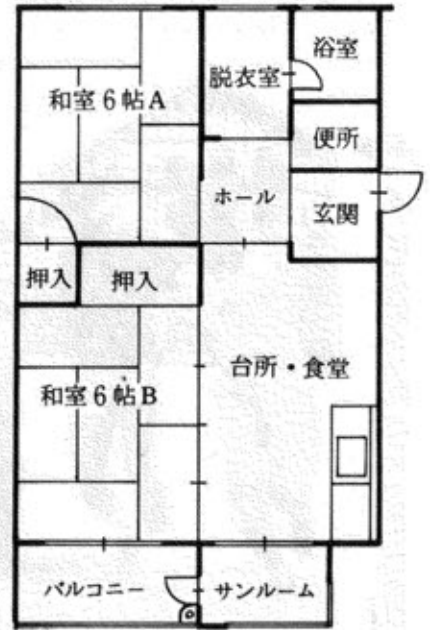
工事の完成は、昭和六十年三月の上越新幹線上野乗り入れ開業と同じになりそうです。同年夏には関越自動車道全線開通も予定されています。

当町が人口増加により増々発展することを期待したいものです。

なお入居申込み案内は決定しだい広報等によりお知らせしますが、現在の予定では来年二月頃から町役場建設課において申込み受付します。

入居基準は、県営住宅よりも低額所得者の入居が可能となり、月毎の家賃は安くなります。

一戸当り間取り図 2DK(面積60㎡)



県高速交通体系関連観光地整備計画調査会 運動公園を現地視察

町運動公園が、県の滞在型観光(レクリエーション観光)の核になるものとして調査対象に選ばれ、去る8月11日、調査団が訪れました。

この調査団は、県の高速交通体系関連観光地整備計画調査会(小谷達男立教大社会学部教授ら13調査員)で、高速交通体系の整備に対応し、滞在型観光客の誘致促進と定着を図るために必要な、関連観光地の資源開発と施設整備の在り方を探るものとして訪れたもの。

当町は、関越自動車道のインターチェンジと日本で2番目に大きいサービスエリアをもち、高速交通網はすばらしい。

近年、生活水準が向上し、急激な高齢化が進み、週休2日制の導入等、余暇時間が増大し、加えて健康への感心度が高まり、「自然に親しみながらスポーツを楽しむ」いわゆる「家族滞在型観光」が増加しています。

当町はいち早くこれを察知し、町運動公園を建設しましたが、まだ充分とはいえないため、「第二次中山高原開発」を予定しています。

同調査団は、既設の運動公園と「第二次中山高原開発計画地」を合わせて現地調査したものです。また、観光を通じ、「都市と農村の交流」を促進し、農業が果している役割を住民に理解してもらい、合せて農村の発展をも期待しています。

今後、同調査会では、現地調査の結果をもとに「高速交通体系関連滞在型観光地整備構想」を策定し、昭和61年度から、具体的な計画を進める予定となっています。

第五回小千谷市・川口町農村婦人の集い 農作業衣のファッションショー



去る、八月二十日、川口町運動公園キャンプ場に於いて「農作業を楽しくする工夫」というテーマで小千谷市と川口町の農村婦人の集いが開かれました。(写真)

これは、小千谷市と川口町の農村婦人が一堂に会し、日頃の農家生活の実践活動で習得した知識や技術を交換し合い、農村婦人の役割を認識し、生産と生活の調和をはかり、

充実した農家生活と豊かな農村づくりをめざすことを目的としたものです。

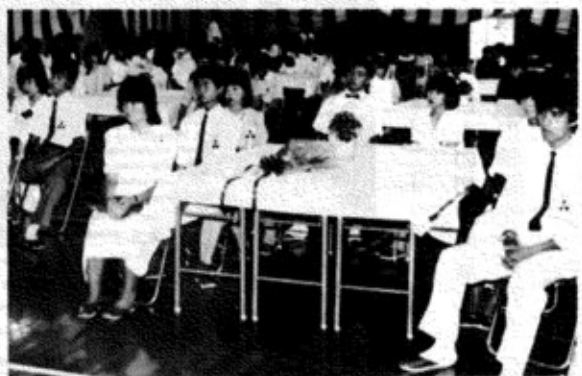
午前中は湛水土壌中直播栽培やタバコの収穫作業等の現地研修を行い、昼からはウォークラリーで楽しみ、農作業衣のファッションショーを行いました。

三分間で作れる手ぬぐい利用の作業帽、古傘利用のエプロンなど、楽しいアイデアがたくさん集まりました。

成人式

さわやか20歳

小高棒踊り
花笠甚句(花そえる)



▲約9割の出席率をみた夏の成人式
8月15日 福祉センター

例年になく猛暑が続き、今年一番の暑さとなったお盆の十五日、総合福祉センターにおいて、第三十四回成人式が行われました。

昨年からは八月実施となり、参加者の服装は、さわやかさにあふれ、若さいっぱい。

新成人対象者百八人のうち、九十三人が出席、式典では、希望に胸ふくらます若者に青柳町長は式辞において「君たちの力が明日の川口を築く」と期待を込めあいさつ。来賓を代表して、関登代一議会議長が祝辞を述べ、町から成人代表の笹崎光子さん(川口五)に記念品が手渡されました。

新成人を代表して生越千博くん(川口一)、平沢敦子さん(牛ヶ島)の二人が「町民

の納得できる、他の町村に見られない個性を持った町、調和のとれた活力ある温かい町づくりを今日から川口町公民として責任を果します。」と力強く、頼もしい謝辞を述べ、お礼として花束を町長に贈りました。

式典後は記念撮影をし、来賓、主催者と共に記念パーティーが行われ、久しぶりに帰

省して顔を合わせた旧友と話を弾ませる場面が随所に見られました。

今年の成人式では特に成人代表の希望により、町の無形文化財の指定を受けている、「花笠甚句」と「小高の棒踊り」が披露されました。

統合後の卒業生らしく川口中学校の校歌を全員で歌うなど有意義なうちにも、「はたち」を祝い合いました。



猛暑の中、一時の涼感を楽しむ

川魚つかみどり大会

男山漁場



IIスタートの鐘を合図に親子づれが一せいに飛び込み、歓声をあげながら川魚を追っ掛け、つかみ取りに夢中

(写真)

涼味満点の「第二回川魚つかみどり大会」(主催・魚沼漁業協同組合川口支部、後援町観光協会)が去る十五・十六日の両日、男山漁場で行われ、親子づれなど約七百名が

一斉放水に頼もしさ

町消防団総合演習



さる8月19日(日)、川口中学校において、少年消防クラブも参加し、町消防団総合演習が行われました。

町消防団員、来賓の300名が参加、「ポンプ操作」「放水演習」など、日頃の訓練を披露しました。このたび退職された4名に対し町から感謝状が、また、団員114名に、表彰状が手渡されたほか、建物無火災2000日以上達成の地区として第六分団(木沢・峠)、第二分団(和南津・中山)に竿頭綬が、建物無火災1,000日以上達成の第五分団(田麦山)に功績章が、それぞれ授与されました。

猛暑の中、一時の涼感を味わいました。

魚野川と相川川の出合に、川幅10m、長さ約100mの仮設場所を作り、アユ・ウナギ・コイ・ハヤなど一回毎に約二〇〇匹が放され、用意のよい人は魚籠を腰にすばやい動きで次々に魚をつかまえ、なれない手つきの子の人も大きな鯉を手で得意満面の顔で、収穫の少ない幼児は、主催者側から錦鯉のサービスを受け、大喜びで帰りました。

退職者医療制度

10月1日から適用

国民健康保険

自己負担 軽減される



新聞などの報道でご承知のように健康保険法が改正になり、「退職者医療制度」が発足することになりました。

この退職者医療制度は、としをとって会社などを退職した場合、国民健康保険に加入していましたが、この人たちのうちで一定の要件に該当する人については、新しくできた「退職者医療制度」により、保険給付を行おうというものです。

この新しい制度は昭和五十九年十月一日から実施の予定です。

▼できた理由

若い元気なうちは健康保険に加入し、病気の多い老後は国保に移るため、その医療費を国庫と国保の加入者に依存することになり、国保の負担が非常に大きくなるわけで、かねてからその不合理性が指摘されてきました。

今回の改正は、この点を改めたものです。

財源は、当事者が支払う保険料と、各種の被用者保険から出される「拠出金」でまかなわれます。

▼退職被保険者になる人

次の三つの条件にあてはまる人が退職被保険者として認められます。

① 国民健康保険の加入者。

② 厚生年金、共済組合等(国民年金は除く)の年金制度から老齢(退職)年金の支給を受けている人。または四十歳以後の年金制度の加入期間が十年以上の通算老齢(退職)年金の支給を受けている人。

③ 老人保健の適用を受けていない人(七十歳未満)。

▼扶養家族
退職被保険者の扶養家族と

して認められる人は次の範囲の人です。

国民健康保険の加入者であって、退職被保険者と生活を共にし、主として退職被保険者の収入によって生計を維持している次の人。

① 退職被保険者の直系尊属、配偶者(内縁関係でもよい)及び三親等内の親族。

② 配偶者(内縁でもよい)の父母及び連れ子。

なお、退職被保険者本人が老人保健法の適用を受けるようになったとき、または死亡したときは、扶養家族は退職被保険者の扶養家族としての資格を失い、一般の国保の被保険者となります。

▼資格の発生

退職被保険者となる日は年金の受給権が発生した日です。受給権が発生すると本人宛に年金証書が送られてきます。年金証書を受けとったら十四日以内に、世帯主は役場の国保の係へ届け出なければなりません。

▼一部負担金は

入院→二割
外来→二割
退職被保険者

扶養家族
入院→二割
外来→三割

これまでの一律に三割負担であったのに比べ、自己負担額が軽減されることになりました。

▼保険証

退職被保険者のため、新しく被保険者証が交付されることとなりますが、暫定的な措置として来年の三月までは、「退職被保険者等証明書」を交付しますので、それまでの被保険者証と一緒に医療機関に提示します。

▼保険料

退職被保険者の保険料は、一般の国保の被保険者の算定方法と同じです。

そしていままでどおり世帯単位で賦課されますので、一つの世帯に一般の被保険者と退職被保険者がいる場合は、両方の合算額を世帯主に賦課します。

▼該当者は届出を

退職者医療制度の対象者と思われる方は役場の国保係へ届出をして下さい。

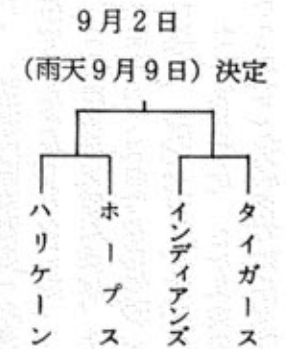
※問い合わせ先
町民課国保係へ

町長杯争奪野球大会

ベスト4そろろう

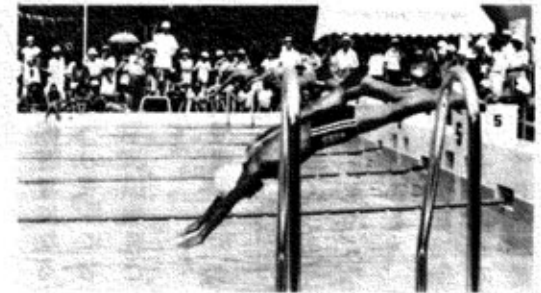
2連バねらうホープス

去る七月八日、熱戦の火がたをきった町長杯争奪野球大会は、ナイターによるリーグ戦(参加二十四チーム)が行われ、接戦の末、下記の四チームが決定されました。ベスト4は、トーナメント方式により、九月二日(雨天の場合九月九日)に優勝チームが決定されます。



川口勢大活躍

郡小学校親善水泳大会



▲ 郡内小学校 19校が参加 8月9日 川口小プール

去る八月九日、川口小学校において第十八回北魚沼郡小学校親善水泳大会が行われ、川口勢が大活躍し、上位入賞を果たしました。当町の結果は次のとおり。

- ▽百メートル自由型 六年男子 優勝 大淵 公宏 (田麦山小)
▽五十メートル背泳ぎ 五年男子 優勝 松崎 充 (川口小)
▽二百メートル自由型リレー 六年男子 優勝 大淵 公宏 (田麦山小)
▽二百メートル背泳ぎ 六年男子 二位 田麦山小チーム (川口小)
▽七十五メートル個人メドレー 六年男子 優勝 星野 光宏 (木沢小)
▽五十メートルバタフライ 六年男子 優勝 星野 光宏 (木沢小)
六年男子 二位 大淵 公宏 (田麦山小)
六年男子 三位 津端 健治 (川口小)

スポーツの町宣言

10月上旬の予定

- 町民軟式テニス大会 日時 10月7日 AM8:30~ 場所 町運動公園 テニスコート
●地区館対抗ソフトボール大会 日時 10月7日 AM8:30~ 場所 町運動公園 多目的広場

少年の主張大会

小千谷・北魚沼地区大会

中学生代表13名

建設的な意見を発表

8月22日 運動公園体育館

去る八月二十二日、町運動公園体育館において第五回新潟県少年の主張大会小千谷・北魚沼地区大会(主催小千谷北魚沼地域広域青少年対策推進協議会他)が行われ、各中学校の代表十三名が、建設的な意見を発表し、約五百名の生徒、父兄からさかんな拍手をあげていました。(写真)



- この大会は、同地区内の中学生が日頃考えている清新かつ建設的な意見を発表することにより、自らが健康な心身づくりに努めるとともに、地区内の住民がその健全育成に対する理解を深めてもらうと毎年開かれているもの。主張発表は一名五分程度で
①私の家庭
②私の希望
③今、学校で考えていること
④今、私が考えていること

⑤今の社会に思うこと等を発表。

最優秀賞は、三年連続広神村中学校へ。当町の三年、広井康子さんも頑張り奨励賞を受けました。アトラクションとして、川口あたり太鼓が披露され緊張感をやわらげておりました。

ヤング紹介 25

活気ある商店街を 西川口 真島伸江さん



真島伸江さんは、相川口より六日町のレストランに勤めている明るなお嬢さん。
Q 趣味は何でしょうか。 A ドライブや映画観賞です。
Q 休日は何をしていますか。 A 自宅の掃除、洗濯で一日終るみたいです。
Q 理想の異性像は。 A 他人から信頼され、価値のある男性だと認められる様な人が理想です。
Q 「結婚しなさい」と一言どうぞ。 A あこがれ&親孝行&人生の墓場。
Q 今の仕事どうですか。 A 生きがいです。
Q 町への要望は何かありますか。 A 活気ある商店街づくりを望みます。
Q 好きな「言葉」は。 A 信頼。
Q いちばん嫌いなのは(何でも結構です) A 人を裏切ること。
Q 将来の夢を一言でどうぞ。 A 今はまだ自分が何をしなければならないか見つけ出すことが精一杯で夢など見ている暇もないです。
Q 体にいいことやっていますか。 A 仕事が体に一番良いです。

選挙管理委員に 覚張栄一氏決まる

選挙管理委員の中林誠氏(川口1)が、任期なかばの先月11日に病気のため死去されました。中林氏は、昨年12月に選任されて委員活動を続けていましたが、その後春さきに発病となり回復しないまま亡くなられたものです。

欠員となった委員の後任には、補充員の中から覚張栄一氏(長坂・49歳)が繰上げ補充されて就任しました。

選挙管理委員の欠員補充方法は地方自治法で定められており、正規の委員4人を選任する際に同数の補充員も選任しておき、任期中に委員の欠員がある場合は、補充員に順位をつけて順次補充されるしくみになっています。

秋の農作業安全運動 9月1日~10月5日



町史ごぼれ話 22

想い出の学校

純情だった幼い日々

学校シリーズのまとめとして、和南津校、相川校、牛ヶ島校のプロフィールを集めました。

した。明治、大正、昭和の学校の歴史はドラマチックな近代の歴史でもあります。

新しい教育をつくり出す一助となれば幸いです。



▲ 和南津校 (昭和48年閉校)



▲ 相川校 (大正14年閉校)



▲ 牛ヶ島校 (大正14年閉校)